



## 9月19日 城川内小学校 長生園を敬老訪問

- ⑦ メッセージカードを手渡す児童
- ⑧ 肩もみと肩たたきのプレゼントを喜ぶ長生園の入所者ら
- ⑨ 1、2年の児童35人によるダンス
- ⑩ 高齢者と児童と一緒に踊った「長島音頭」



地域のかたがたが早朝からこしらえた刺身、魚の煮付けなどが並びました。

このほか、生の音楽を楽しんでもらおうと、出水市でバンドを組む「クローバー（中蘭茂代表）」による生演奏が行われました。高齢者が良く耳にする演歌の演奏では、歌や踊り、手拍子も始まり、会場は楽しいひと時となりました。

今年79歳になる濱口絹江さんは「今日は、ごちそうや生演奏、地域のみなどと語れて楽しかった。これからも大好きな野菜づくりを続け、長生きしたいです」と敬老会を満喫した様子でした。

大石館長は「高齢者の皆さんには、いつも花壇の管理など協力してもらい感謝している。100歳を超えるよう長生きしてほしい」と話しました。

9月19日、城川内小学校（加治佐敏昭校長）の1、2年35人は、養護老人ホーム長生園を訪問しました。

この活動は、年に一度施設で高齢者とふれあい、いたわ

る気持ちを育てる教育活動の一環として実施しています。

当日は、児童を代表して竹中達貴くんが「長生園に来るのを楽しみにしていました。今日はよろしくお願ひします」とあいさつ。入所者らは拍手をして歓迎しました。

児童らは、高齢者の皆さんに喜んでらおうと、練習してきた歌やダンスの披露のほか、一人一人に「いつまでも長生きしてね」などと書いたメッセージカードを手渡した後、肩たたきのプレゼントをしました。入所者らは「ありがとう。気持ちがいい。」とお礼を言い、児童と握手を交わしたり抱き寄せたりするなど、楽しい時間を過ごしていました。

入所している児玉節子さんは、「年に一度の訪問を楽しみにしていた。肩たたきなど気持ち良かった」と喜びを声にしました。ひ孫に会えた濱崎アヤノさんは「今日は子どもたちに会え元気が出た。楽しい時間でした」と話しました。